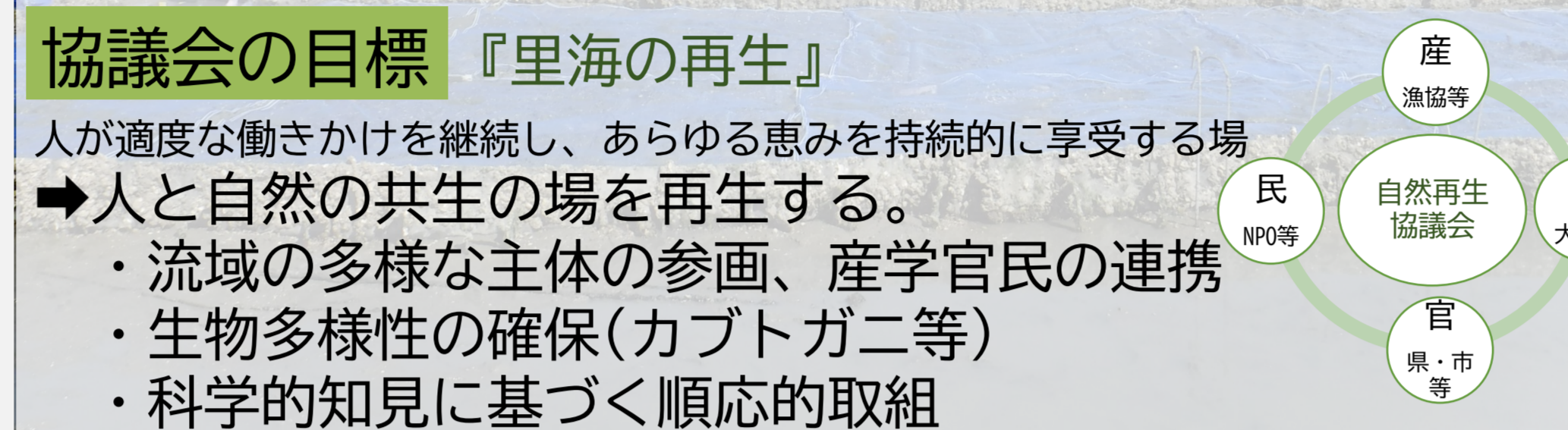


山口湾での自然再生活動及び自然観察公園での里海体験場との連携について



○元永直耕、山本武人（山口県環境保健センター、榎野川河口域・干潟自然再生協議会委員）
 泉 祐人（山口県環境生活部自然保護課、榎野川河口域・干潟自然再生協議会事務局）
 寺本明広（特定非営利活動法人野鳥やまぐち）、吉永聡（株式会社水土舎）
 矢部 徹（国立環境研究所：Ⅱ型共同研究担当者）

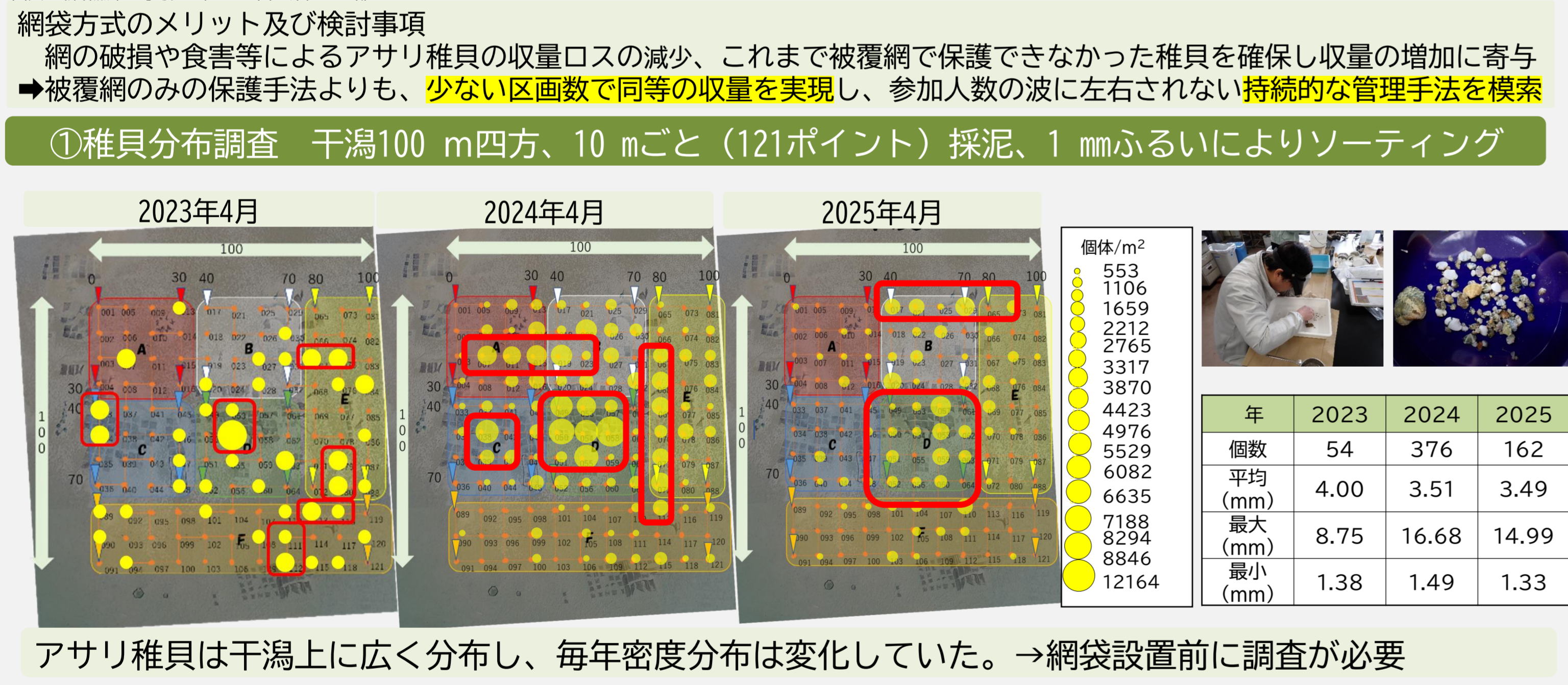
背景 山口湾に位置する榎野川河口干潟では、榎野川河口域・干潟自然再生協議会がアサリを指標とした住民参加型の里海再生を行っている。被覆網の設置等により20年ぶりにアサリが獲れるようになり、潮干狩り等のイベントが実施可能となった。



課題

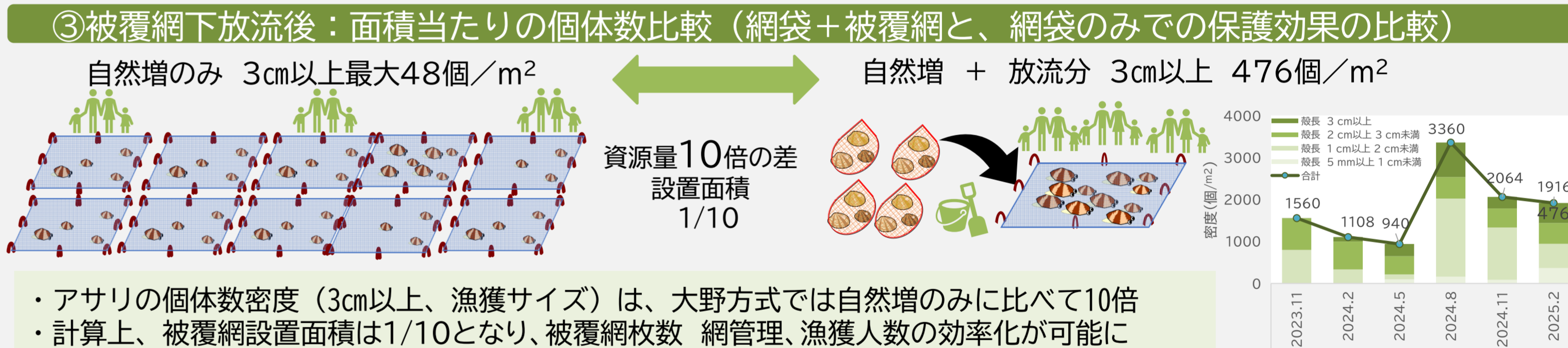


取組 1 網袋(大野方式)を用いた住民参加型のアサリ保護・育成による管理効率化の検討

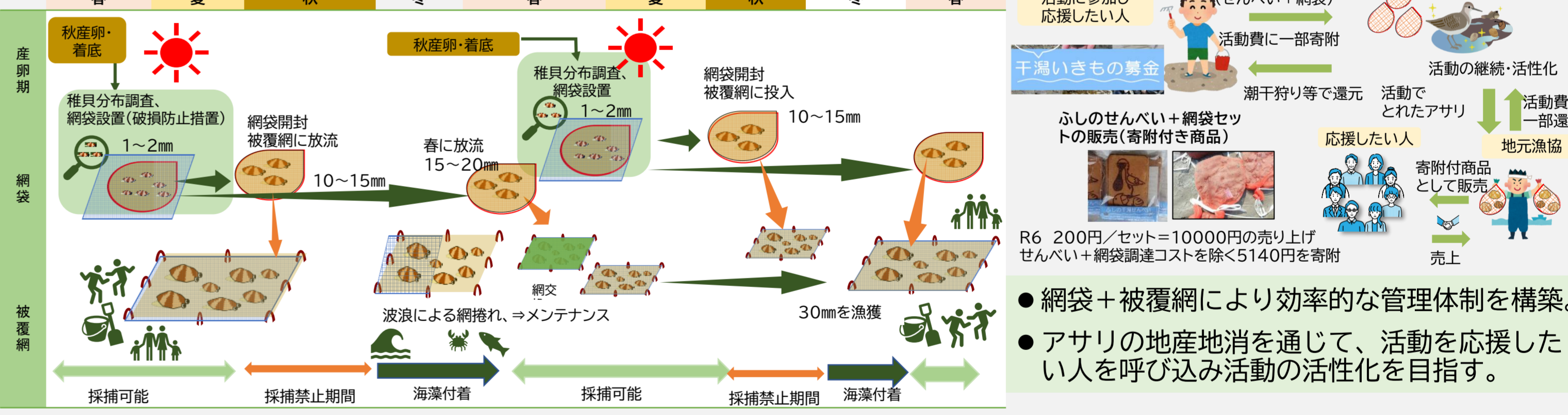


②稚貝採取：網袋(市販玉ねぎネット)に表砂を入れ設置(4月)、保護育成、開封・被覆網下放流

| 期間 | 春イベント参加人数 | 網袋総数(枚) | 破損・損失枚数(枚) | 開封総数(枚) | 網袋残存率 | アサリ総重量(kg) | 1袋当たり重量(kg/袋) | 放流個体数(推計) |
|----------|-----------|---------|------------|---------|-------|------------|---------------|-----------------|
| 2023(R5) | 169名 | 131 | 35 | 96 | 73% | 18.6 | 0.19 | 約12,000個 |
| 2024(R6) | 186名 | 238 | 4 | ↑234 | ↑98% | ↑80.8 | ↑0.35 | 約69,000〜81,000個 |
| 2025(R7) | 142名 | 133 | | | | | | |



④今後の取組方針



取組 2 きらら浜自然観察公園での里海体験場の創出



①基礎調査概要及び里海体験場所創出に係るゾーニング



②ゾーニング場所ごとの活動概要

